

せいかつか

SEIKATSUKA EDUCATION

創刊号
1994

は じ め に

日本生活科教育学会会長 滝沢 武久



これからの学校教育の在り方をめざして誕生した生活科は、その全面実施以来、2年間経過しました。最初のうちは戸惑う向きもあったようですが、ともかくも生活科の授業で、子どもたちが眼を輝かせ、夢中になって活動している姿を目前にして、生活科の授業づくりに先生方は真剣に取り組み始めています。そのため、生活科教育のさまざまな実践研究に対して旺盛な関心が向けられており、それだけに日本生活科教育学会に寄せられた期待はふくらみつつあります。

このたび創刊されるこの機関誌も、会員のそういう期待に応えるためのものにしたいと思います。従来、学会誌といえばあまりに専門的で難解なものが多かったのですが、この機関誌はすべての会員にとって近づき易く、かつ読みごたえのある内容を盛り込むことをめざしています。しかも独創性豊かな実践研究を掲載することにより、生活科教育の充実と発展に寄与したいと考えています。この意味では、従来の学会誌の伝統を打破した新しいスタイルの機関誌になるでしょう。

生活科は、わが国で初めて実施される新教科であるだけに、既存の枠にとらわれずに伸び伸びと多角的に研究していくことによってのみ、この教科の進歩が可能となります。

生活科のこの基本的性格を反映させて、この機関誌でも、さまざまな立場で全国各地で実践されているすぐれた研究を幅広く取り上げていくつもりでおります。

したがって、この機関誌をていねいに読んでいただければ、きっと有益な示唆と新しい視野とが与えられるでしょう。また、ここに投稿された実践研究を論議の対象として検討することにより、生活科の研究をいっそう推進させることともなるでしょう。

この機関誌に充実した論文を満載するために、会員の方々がこれに関心をもって接し、かつ進んで投稿していただくことを、改めてお願いする次第です。

日本生活科教育学会

はじめに.....	滝沢 武久	1
-----------	-------	---

特集 1 生活科の授業作り

◆ 授業で育つ子どもと教師——1年「ぼくやわたしの南が丘小」「冬の探検」.....	吉田 豊香	4
◆ 学習活動に必然性と連続性を生み出す「活動活性化单元」.....	丹伊田弓子	10
——「たのしいよ すてきだよ ぼくたち わたしたちの町」		
◆ 大学における「生活科の授業」はどうあればよいか.....	有田 和正	16
◆ 大学における生活科の授業——その実態と展望.....	奥井 智久	22
◆ 期待をいだかせる展開——四人の先生の実践記録を読んで.....	安部 康美	28
◆ 4人の先生方の論考から学んだこと.....	日台 利夫	34
——生活科の授業づくりの視点とその方法を探る		

特集 2 私の授業の見方

♣ つちやすなであそぼう.....	津川 裕	40
♣ 生活科の授業の見方.....	川上 昭吾	48
♣ 津川裕先生の授業から学ぶこと——1年「つちやすなであそぼう」.....	椎名 仁	51
♣ 雨の日も楽しく.....	稲葉 正治	54
♣ 天王寺小学校稲葉実践に学ぶ——2年1組「雨の日も楽しく」.....	倉澤 達雄	62
♣ 表現できない世界の豊かさを読み取り意味付ける能力を.....	馬居 政幸	65

私の生活科像

■ 自分を信じる“うぬぼれや”を育てたい.....	平山 許江	68
■ 生活科からの発想.....	白樫 静江	70
■ 「マーフィーの法則」生活科バージョン25.....	樋口 雅子	72
■ 教育改革運動としての生活科.....	市川 克美	74

目 次

日本生活科教育学会

No. 1

■ 「探究——コミュニケーション」の構築をめざして……………	森 透	76
■ 不断のチャレンジと創造……………	宮本 三郎	78
■ 毎日が喜びに満ちる生活科——成長への5つの視点を考える……………	田中 光顯	80
■ もしも“自由にやれる生活科”を考えるとしたならば……………	山口 令司	82
■ 生活科の授業を参観しながら考えたこと……………	矢野 英明	84

自 由 稿

◇ 遊びをめぐる……………	藤崎真知子	86
◇ 場所への愛着を核とした生活科の授業……………	無藤 隆・山田 誠	92
◇ 柳田国男の民族学と生活科教育——「前代教育法」に学ぶ……………	谷川 彰英	98

私の地域の生活科

♣ 秋田の“おばこ”生活科……………	浜 田 純	104
♣ 民話を活用した生活科——「でいらぼっち」をおいかけて……………	古川 鉄治	108
♣ 新潟の豊かな大地に根ざして……………	五島由美子	112
♣ 季節感を実感させるための工夫——秋とあそぼう……………	森下規代子	116
♣ 百間川の春夏秋冬……………	家光 大蔵	119
♣ どうすれば活動の連続発展がうまく図れるか……………	寺尾 慎一	122

* 日本生活科教育学会会則……………	126
* 学会だより……………	127
* 編集後記……………	128